

詩吟・尺八同好会



詩吟同好会は大和豊山流の川村溪泉先生による月に1回、第4週の土曜日の午後、新宿の音羽亭で2時間稽古を行なっています。

昨年、大和豊山流の詩吟大会が白井市文化センターで行なわれ、ブロックのメンバーである東京秋工会は、合吟で「富士山」を吟じました。また独吟では今まで稽古をしたものの中から各自が吟題を選び披露しました。

また、昨年6月に行われた2年に1度の昇段試験で下記メンバーが昇段し、この大会で大和豊山流の昇段を認定する立派な証状が授与されました。

佐々木里風 (進)	3段
地主 碓風 (勝巳)	3段
加賀谷環風 (健治)	3段
三平 旭風 (俊悦)	4段

この詩吟同好会も10年以上の経歴を持ち、全員が実力をつけたことから2冊目の黄色の歌詞集も1回で新しい練習曲が短時間に5～6曲も進む勢いで稽古しています。

今年は9月に母校創立110周年記念行事が行われます。10年前の百周年記念の懇親会では相馬洋悦(洋風)師が作詞した「秋工創立百周年の祝いに思う」を吟じました。

今年は東京秋工会の詩吟同好会としては新しい詩吟に取り組み、秋田県民歌の歌詞の一部を詩吟に編曲しチャレンジしてみようと川村先生に作譜をお願いして、早速稽古を始めました。

すばらしい作詞で知られている名歌が、また雰囲気の変った「詩吟秋田県民歌」になると思います。

尺八は民謡や詩吟の唄う人の後を追う伴奏の役割や尺八の合奏、箏曲(琴)、三絃(三味線)との和楽器の演奏等幅広く演奏ができます。

三平俊悦氏が尺八の基本から熱心に稽古に励んでおりますので、この先民謡・童謡など合奏に活躍されるよう期待しています。

今年は4月に民謡同好会が発足しました。創立110周年記念の懇親会では山形俊男氏の唄に三浦晃氏の三味線が加わり、嵯峨良平氏と鈴木彦之の尺八を交えた本格的な秋田民謡になりそうです。

和楽器の演奏者も老化する一方で、学校の授業にも取り入れられて若返りを図っていますが、奥が深く長い年月が必要なことから、年々減少の傾向です。音の響きの魅力に今からでも遅くありませんあなたも趣味を広げてみませんか。



第17回
大和豊山流詩吟大会
に出場

詩吟・尺八同好会

代表 鈴木彦之 (昭和31年機械科卒)

事務局・詩吟 佐々木進 (昭和40年採鉱科卒)

事務局・尺八 嵯峨良平 (昭和43年電気科卒)

連絡先 鈴木彦之

携帯 090-1691-7435

E-mail shuzan-hiko@ever.ocn.ne.jp

◆記事

鈴木彦之

地盤調査・土質試験・土地家屋調査 土木設計・一般測量・さく井調査



代表取締役 佐々木 秀人

取締役 佐々木 進 (昭和40年採鉱科卒)

本社 東京都調布市東つつじヶ丘3-41-31
〒182-0005

TEL 03(3308)7591

FAX 03(3308)7597

E-mail : geo@msj.biglobe.ne.jp



地鶏串焼割烹
音羽亭

TEL. 3345-9434

新宿区西新宿6-6-2 ヒルトンホテルB1

◆営業時間 / PM5:00～PM10:00 ◆日曜・祭日はお休みです。
(ランチタイム / AM11:30～PM1:30)